

祝五周年

霧が丘 ゆめ ひと みらい



横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校

創立五周年を祝して

五周年後も更に充実させる。

霧が丘連合自治会 会長 塚田 順一



霧が丘に三つあった小学校を（児童数減）一つに統合し横浜市内初の小学校・中学校の統合校としてスタートして五年になりました。

今後も統合校の特徴である先生の交流等を生かした教育に力を入れる。市教育委員会も真剣に取り組む。地域も学校運営協議会等を通じて、協力、支援をする。

過去に連合自治会が取り組んだ中学生対象のホームステイ（シンガポール）十四名の参加の具体的な成果として昨年参加の一人が一年間の海外留学に行き、七月に帰国しました。

小学生、中学生、成人有志による霧が丘ソーランや、小学生対象の富士山レーダードーム館見学を続ける。

良い事は続け、不自然な事は改められる街であり、統合校にする。

学校、PTA、地域、家庭が一体となり良い環境作りを進める「教育日本一」が実現できるよう多くの皆様のご支援をお願いします。

創立五周年を祝して

五周年記念実行委員長 渡部 耕治



横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校の創設5周年、おめでとうございます。記念事業等の開催にあたり、実行委員長の大任を仰せつかったことを大変に光栄に存じます。

5周年記念行事を執り行えるのも、児童生徒のため安全・安心な街づくりをして頂いている、霧が丘連合自治会会长である塚田順一会長はじめとする地域の皆様のおかげであり、子どもたちを優しく、時には厳しく指導頂ける酒井徹校長先生をはじめとする先生方のご指導のおかげと感謝申し上げます。

霧が丘小中学校のために労苦された先人の方々に感謝し、霧が丘魂を受け継ぎ10年、20年、50周年へと子どもたちの成長を支え、学校、家庭、地域が一体となり、霧が丘小中学校が成長し続けられることを祈念し、お祝いの言葉と致します。

霧が丘小中学校創立五周年に際して

校長 酒井 徹



本校は旧霧が丘第一小、同第二小、同第三小の統合により開設された横浜市立霧が丘小学校と、霧が丘中学校とが一体となり、平成22年4月小中一貫校として開校し、本年、創立以来5年が経過しました。その記念すべき佳き日を児童生徒はじめ、保護者の皆様、地域の方々等とともに祝うことをとてもうれしく思います。

さて、本校は新治市民の森や三保市民の森に隣接する清閑な環境に加え、複数の大学や高等学校が接近する文教地区に立地しています。「霧が丘」の地名は、古くからの字名「霧ヶ谷」にちなみ、うっそうとした山林におおわれていた当地の開発以降、名づけられたそうです。

その後、本校は地域の学校として人々に愛され育てられ、現在は1,000名の児童生徒が伸びのびと生活し、新たな伝統や校風が築かれています。

創立5周年の記念事業にあたり、粉骨碎身、準備等にあたっていただきました渡部耕治創立五周年記念実行委員会委員長はじめ実行委員や保護者の皆様、本校の教育活動に日々から深い理解とひとかたならない協力をいただいております塚田順一霧が丘連合自治会会长はじめ町内会・自治会の皆様方、また初代入内鳴周一元校長はじめこれまで取り組まれた教職員の方々に心より感謝を申し上げお礼の言葉といたします。

創立五周年を祝して

横浜市教育長 岡田 優子



横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校が、創立5周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。霧が丘小学校と霧が丘中学校のそれぞれのよき伝統が引き継がれ、また、地域や保護者の皆様に暖かい御支援をいただき、この日を迎えることができました。

さて、本市では「教育のまち・横浜」をめざす「横浜教育ビジョン」に基づき、「第2期横浜市教育振興基本計画」を策定中です。その柱は、3つの基本「知・徳・体」と2つの横浜らしさ「公・開」を大切にしながら、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することにあります。

霧が丘小中学校は全国でも数少ない小中一貫校の一つとして、極めて特色ある教育活動を実践しております。義務教育9年間を通して一貫性のある教育を推進していくことで、子供の成長を支え、一人ひとりのよさを大きく伸ばす貴校の取組に期待しています。

これからも霧が丘小中学校のますますの御発展と、学校を支えてくださる皆様方の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立五周年を祝して

緑区長 名取 正彦



横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校の創立5周年おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

霧が丘小中学校は全国でも数少ない小中一貫校として、子どもの成長に合わせた柔軟な教育システムを構築され、時代を先取りしたすばらしい教育を実践してこられました。

社会情勢が急速な変化を続ける中、「これからの横浜、これからの中区」を担う子どもたちには、学ぶ力、そして自ら考え判断・行動できる統合力を身に付けていってほしいと思います。

さて、緑区では、いつまでも住み続けたい魅力あふれるまちとなることをめざしています。子どもたちが地域に愛着をもち、健やかに成長していくため、「夢みどり50プラン」の取組等を通じて、小中学生が地域での活動へ積極的に参画できる環境づくりをすすめているところです。

霧が丘小中学校においても、これまで同様に地域との連携を積み重ね、さらに地域に愛され、「地域に生きる自立した児童・生徒を育てる」ための魅力ある学びの場となることを期待しております。

結びに、霧が丘小中学校のさらなるご発展と皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

霧が丘小中学校の歩み

1979.9.1 霧が丘第一小学校開校

1982.4.1 霧が丘中学校開校

霧が丘第二小学校開校

1984.4.1 霧が丘第三小学校開校

2006.4.1 霧が丘小学校開校（3小学校統合）

2010.4.1 霧が丘小中学校開校

平成18年4月、在籍した児童の減少等により、横浜市立霧が丘第一小学校、第二小学校、第三小学校が統合し、横浜市立霧が丘小学校が開校しました。その後、平成21年10月には、霧が丘小学校と隣接する霧が丘中学校の統合をめざした霧が丘小中学校設立準備委員会が発足し、協議や準備の末に、平成22年4月、横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校が創立開校しました。平成26年5月1日現在、霧が丘小中学校には、694名の児童（小学校）と306名の生徒（中学校）の合計1000名の児童生徒が在籍しています。

小中一貫教育

授業を大事にするために、小中の教職員が協働して学校のあらゆる機能やシステムを児童・生徒のために工夫します。

教育の重点

- 理数教育の重視
- コミュニケーション力・表現力の育成

地域協働による学校づくり

- 学校運営協議会
- 近隣学校（幼稚、高大）との連携

授業を大事にする

- 小中学校の教職員の人的交流を促進し授業改善及び学力向上を目指します
- 小中の滑らかな接続により今日的な児童生徒指導上の課題の解決を目指します

創立五周年を祝して

小学校PTA会長 中村 正史



霧が丘小中学校創立5周年、誠におめでとうございます。

この霧が丘の町で3つの小学校がひとつに統合され、そして小学校と中学校がひとつになり小中一貫校となりましたが、その都度その都度たくさんの方々のご尽力があったと聞き及んでおります。そのおかげで横浜市にただ2校という小中一貫校で、1年生から9年生までが学び、遊び、育っています。

スタートした時点では学校も保護者も戸惑うことが多く、ここまで試行錯誤の連続であったかと思いますが、5年が過ぎてようやく小中一貫校に「出来ること」や「良さ」といった特色が見えてきたのではないでしょうか。

そしてこの5周年を新たなスタートとして、さらに魅力ある霧が丘小中学校の歴史を育んでいってください。私たち保護者も微力ながらお力添えさせていただきます。この度は誠におめでとうございました。

中学校PTA会長 矢崎 京子



霧が丘小中学校誕生から五年となりました。これまでの、一年一年を振り返ると小中一貫校という初めての事に、子ども達・先生方・保護者の皆さん、そしていつも支えて下さった地域の皆さんと共に全力で取り組んできた、幾つもの事が思い浮かび、それらが確実に現在の学校に息づいていると感じています。

沢山の方の想いを繋いで、この五年で築いてきたものは、霧が丘小中学校の土台となるのでしょうか…どうぞ、これからも将来を担っていく子どもたちにとって、より良き学びの場・生活の場となりますよう、更なる研鑽を積まれることを願いながら霧が丘小中学校のこれからに期待を込めて、見守り応援していきたいと思います。

創立五周年おめでとう。

生徒会長 林 直輝



今、私は満足感にあふれた充実した日々を送っています。それは、開校以来今までなかなか実現できなかった小中交流タイムを児童会・生徒会が一体となって今年度初めて実現することができたからです。

霧が丘小中学校が誕生したのは、私が五年生の時でした。当時の私にとって、中学生という存在は、大きくて偉大で憧れの存在でした。しかし、ただ隣に学校があるだけで、小中学生が交流できる機会はありませんでした。だからこそ、小中一貫校として、小学生と中学生が交流できるような時間をつくっていかなければなりません。

実際に中学生になって、小中合わせて約千人の人を集め、みんなができることを考えることは、簡単ではありませんでした。しかし、運営委員会の人たちと一緒に考えた「つなげよう霧が丘魂」のスローガンのもと、心と心がつながるぬくもりのある霧が丘小中学校を、小中交流タイムをきっかけとしてつくっていきたいと思っています。

これからも、小学生と中学生がふれ合える、交流タイムの実践を生かして、活気ある学校を一年生から九年生のみんなでつくっていきたいです。



学年の取組



1年生を迎える会



6年生と初めての体力テスト



七沢体験学習・藍染め体験



お出かけ防災教室(消防署の方を招いて)



音楽集会



新治市民の森へ遠足



毎年恒例 田植え体験



清水体験学習・漁船体験



遊楽さんとこどもの国へ遠足



霧が丘のまちたんけん



社会科見学(横浜市歴史博物館)



5周年記念体育祭・猛スピードで二人三脚



足柄丸太の森へ遠足



飯ごう炊さんとカレー作り



自然教室(山梨県根場村)



赤ちゃんとのふれあい体験



平和について学ぶ沖縄修学旅行



9年



われら きりっ子

霧が丘小中学校の特色ある行事や取組を紹介します。
小中一貫校ならではの、1年生から9年生まで学年の枠を超えた交流も多くあり、ほほえましい姿が見られます。





小学校校歌

一人ひとりかがやいて 別題「みどりのなかで」

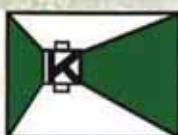
作詞：校歌・校章選定委員会

作曲：横山 裕美子

一、緑かがやく 霧が丘
花と光に つつまれて
校舎につづく 赤いみち
笑顔と笑顔 重なって
瞳はかがやく われらきりっ子

二、心ゆたかに 霧が丘
一人ひとりが 集まって
手と手をつなぎ 肩をくみ
仲間とともに 学び合う
明るく元気な われらきりっ子

三、理想もえたつ 霧が丘
世界にひろがる めがそだち
夢と希望に 胸をはり
一人ひとりが かがやいて
未来へはばたく われらきりっ子
未来へはばたく 明日をめざして



中学校校歌

輝く空に

作詞：海老塚 市太郎

作曲：奥住 紀之

一、みどりの光る 霧が丘
われらの学ぶ 中学校
高く遠くに あこがれて
創造の心 育てよと
はるかな山に 輪をえがく

二、伝説残る 霧が丘
われらの生きる 中学校
広い大地に 声あげて
たくましからだ 鍛えよと
風にむかって 輪をえがく

三、鳥がはばたく 霧が丘
われらの育つ 中学校
青春の色 染めあげて
理想を求め のぼりゆき
輝く空に 輪をえがく

五周年記念実行委員長 渡部 耕治

実行委員 (中学校) 矢崎 京子 姫野 祐子 村井 真紀

(小学校) 中村 正史 荒牧 寿子 畠中 敦子 来田 典子

編集後記

編集にあたりお祝いの言葉を寄せてくださった皆様、またご協力いただいた多くの方々に
心より感謝申し上げます。

5年間のあゆみと子どもたちの学校生活の様子を少しでもお伝えできていれば幸いです。